

## 体を作る物質タンパク質を解析してみよう

日時：令和4年11月23日（水・祝）9：55～16：10 場所：千葉大学教育学部 4号館 206号室

講師：千葉大学教育学部 教授 野村 純先生



### 【受講生の感想】

- 今日の講座で、学校でやった授業の予習・復習になり、とてもためになりました。タンパク室の実験では、ゲルの穴にサンプルを入れるのに苦戦しましたが、うまくいけたので嬉しかったです。また、表の見方によって系統樹形図の描き方が変わることに関心しました。
- 魚のタンパク質を電気泳動させて、体を構成しているタンパク質を種類ごとに分けられるのがすごいと思った。その共通点の数やそれぞれを比べることで、その種とどの種が同じ系統でどこで分岐したのかが分かることが面白かった。現在の進化の系統とは違う結果になったがとても興味深かった。
- はじめは「生きている」という言葉から、「死の定義」や「ATP」のように、倫理学や生化学にまで話が広がる点に興味深かった。以前、植物のタンパク質を電気泳動で分析したことはあったが、それから進化の過程を知ることができると思わなかったので、非常に面白かった。同じデータを使用しているはずなのに、少しの基準や感覚の差で結論がひっくり返る可能性があるということに身を浸みて実感した。